

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	教育実習Ⅰ(中・高)		
担当者(Instructors)	竹田 安宏	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	4	必修・選択(Required / selection)	選択必修

<b>■授業の目的と概要(Course purpose/outline)</b>			
<p>4年間の教職課程と学部授業で学んだ教育理論を実際に学校教育現場で実践することを通して、教員としての適性を確認すると同時に学校現場(中高)での教科指導をはじめに生徒指導及び学級経営などの基本的な指導の在り方を学び教員としての課題を見出す。なお、本授業は3週間の実習を行う学生を対象とする。</p>			

<b>■授業形態・授業の方法(Class form)</b>	
授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	当該校における実習

<b>■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	実習校の概要を把握する。 実習期間中の予定を確認する。 指導教員と打ち合わせをする。	<input type="checkbox"/>
第2回	授業観察(1) 生徒の観察と指導教員の言動から学ぶ	生徒の活動を観察し、レディネスを把握する。指導教員の生徒との接し方を観察する。	<input type="checkbox"/>
第3回	授業観察(2) 生徒の多様な側面と授業の展開方法について学ぶ。	担当するクラスの授業を幅広く観察し、授業の展開方法について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	授業観察(3) 担当教科以外の授業から学ぶ	担当しない教科・クラス・学年の授業を幅広く観察し、授業展開の幅を拓げる。	<input type="checkbox"/>
第5回	授業外活動の観察・実践	課外活動の展開と指導のあり方について実践を通して学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第6回	生徒指導の理解・実践	指導教員と協力しつつ、生徒指導に当たる。	<input type="checkbox"/>
第7回	体育授業及び保健授業の授業デザインの検討	体育、保健授業の授業デザインを検討し、指導教員から指導・助言を受ける。	<input type="checkbox"/>
第8回	体育授業の指導案作成	体育授業の指導案を作成し、指導教員から改善に向けた指導・助言を受ける。	<input type="checkbox"/>
第9回	保健授業の指導案作成	保健授業の指導案を作成し、指導教員から改善に向けた指導・助言を受ける。	<input type="checkbox"/>
第10回	体育授業実践	作成した体育授業の指導案をもとに、実際に授業を実践する。	<input type="checkbox"/>
第11回	保健授業実践	作成した保健授業の指導案をもとに、実際に授業を実践する。	<input type="checkbox"/>
第12回	体育及び保健の授業実践の振り返り	体育及び保健の授業実践の振り返り、研究授業に向けた指導案(細案)の作成を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	研究授業の準備	研究授業に向けて具体的な準備(教材・教具)をする。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究授業の実践	研究授業を行う。 実践の成果をもとに指導案を改善し、次回の授業に備える。	<input type="checkbox"/>
第15回	教育実習の振り返り	実習全体を振り返り、教員に必要な資質・能力および自身の課題について明確化する。	<input type="checkbox"/>

<b>■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)</b>	
<p>各学校の実習指導教員の指示に従い教材研究と指導実践に励む(事前事後含め4時間程度)。</p>	

<b>■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)</b>	
---	--

毎回の実習ノートをもとめ当面の課題を明らかにし、課題解決の方法を検討する。

### ■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 教職課程	教育実習の経験から教科指導をはじめ生徒指導及び学級経営など指導上の課題解決策を述べることができる。

### ■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	20%	80%

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

実習中の観察評価 (20%) 実習校による評価(80%)

### ■テキスト (Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

### ■参考図書 (references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて資料を配布する。	
2		
3		
4		
5		